

	部(支所)長	課長	担当
回 覧			

## いちごハダ二類の育苗期の防除について

お世話になっております。盆が過ぎましたがまだまだ暑い日が続きます。

今回はいちごのハダ二類の防除について触れております。確実に育苗期に防除を行い、本圃への持ち込みを減らしましょう。

### 1. なぜ育苗期に防除を行う必要があるのか？

イチゴ等で要防除対象であるナミハダニとカンザワハダニはハウス栽培で気温が上昇する2月頃から発生が増加します。いずれも育苗期段階から寄生しており、本圃への持ち込みにより密度が増加します。(P3参照)  
育苗期段階での防除を徹底することが春先の密度の低下につながります。

### 2. 昨今のいちごの育苗期に使用できるハダ二剤の紹介（登録拡大含む）

**NEW**アグリメック（アバメクチン1.8%）⇒登録拡大（2018年3月30日）

#### 適用害虫および使用方法(抜粋)

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アバメクチンを含む農薬の総使用回数
いちご	ハダ二類	500~1000倍	100~300L/10a	親株育成期 育苗期	2回以内	散布	2回以内

\*他作物でダニ類、コナジラミ類、アザミウマ類などで登録のあったアグリメックがいちごで親株育成期/育苗期で登録が拡大されました。注：本圃では使用できません。

特徴としてマクロライド系の殺虫剤（IRACコード6）、接触毒、食毒による作用があります。



・ランナー切り離し時に総使用回数のリセットされるため、親株育成期に2回使用後にランナーを切り離す場合は育苗期に更に2回使用できます。

・ランナーを切り離さずに育苗し、そのまま本圃に移植する育苗体系では総使用回数のリセットされません。そのため、使用回数は親株育成期～育苗期で2回以内になります。

私たちJAグループは“無登録農薬”は扱いません！

「モベントフロアブル」(スピロテトラマト 22.4%) ⇒登録拡大(2014年)

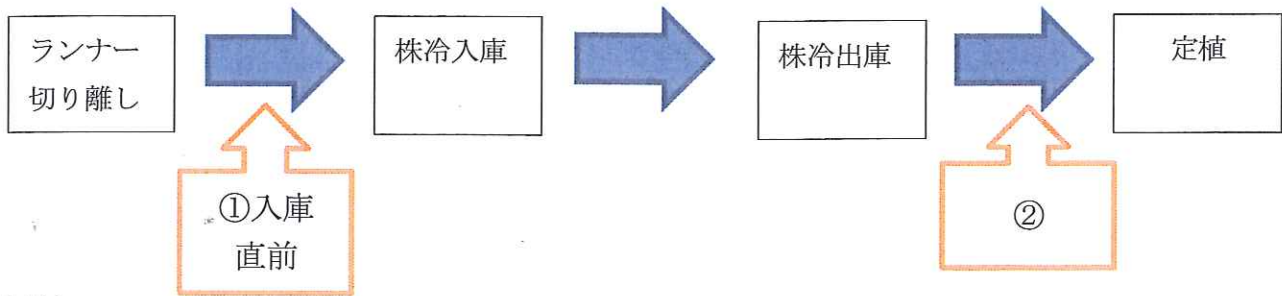
モベントフロアブルの適用害虫と使用方法 (いちご:灌注処理のみ抜粋)

2018年7月現在

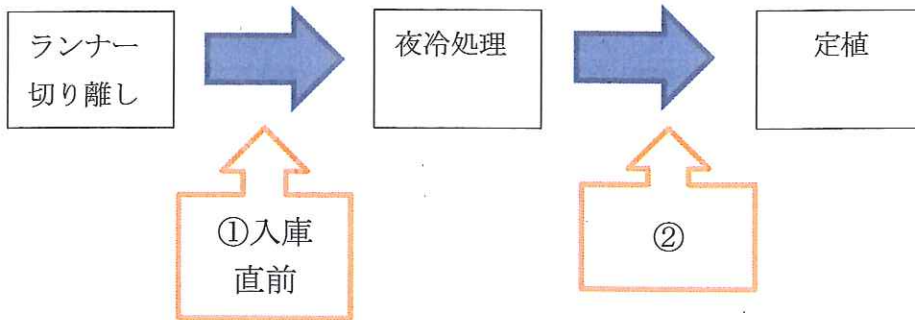
作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	使用回数		使用方法
					本剤	スピロテトラマト	
いちご	ハダニ類	500倍	50mL/株	育苗期 後半	1回	1回	灌注
	アザミウマ類 コナジラミ類 アブラムシ類		25~50mL/株				

使用時期の育苗期後半としてのイメージ図。①、②のタイミングで処理できる。

(普通促成・株冷)



(夜冷)



モベントフロアブルをうまく使用するには?

モベントフロアブル

農林水産省登録:第23187号  
有効成分:スピロテトラマト...22.4%  
毒性:普通物



上手な灌注処理法



以下に留意して「50ml/株処理」することが、効果発揮のポイントです。

- 1 下葉かきは丁寧にいき、灌注時に邪魔にならない様準備する。
- 2 薬剤を十分吸収させるため、灌注処理前の灌水は控える。
- 3 弱めの水圧でゆっくり葉の上から丁寧に灌注する。
- 4 薬剤を十分吸収させるため、灌注処理後の灌水は控える。



# ハダニの侵入時期



ある時点の発生状況から大まかに逆算すると、最初の1頭はいつ侵入したものなのか？

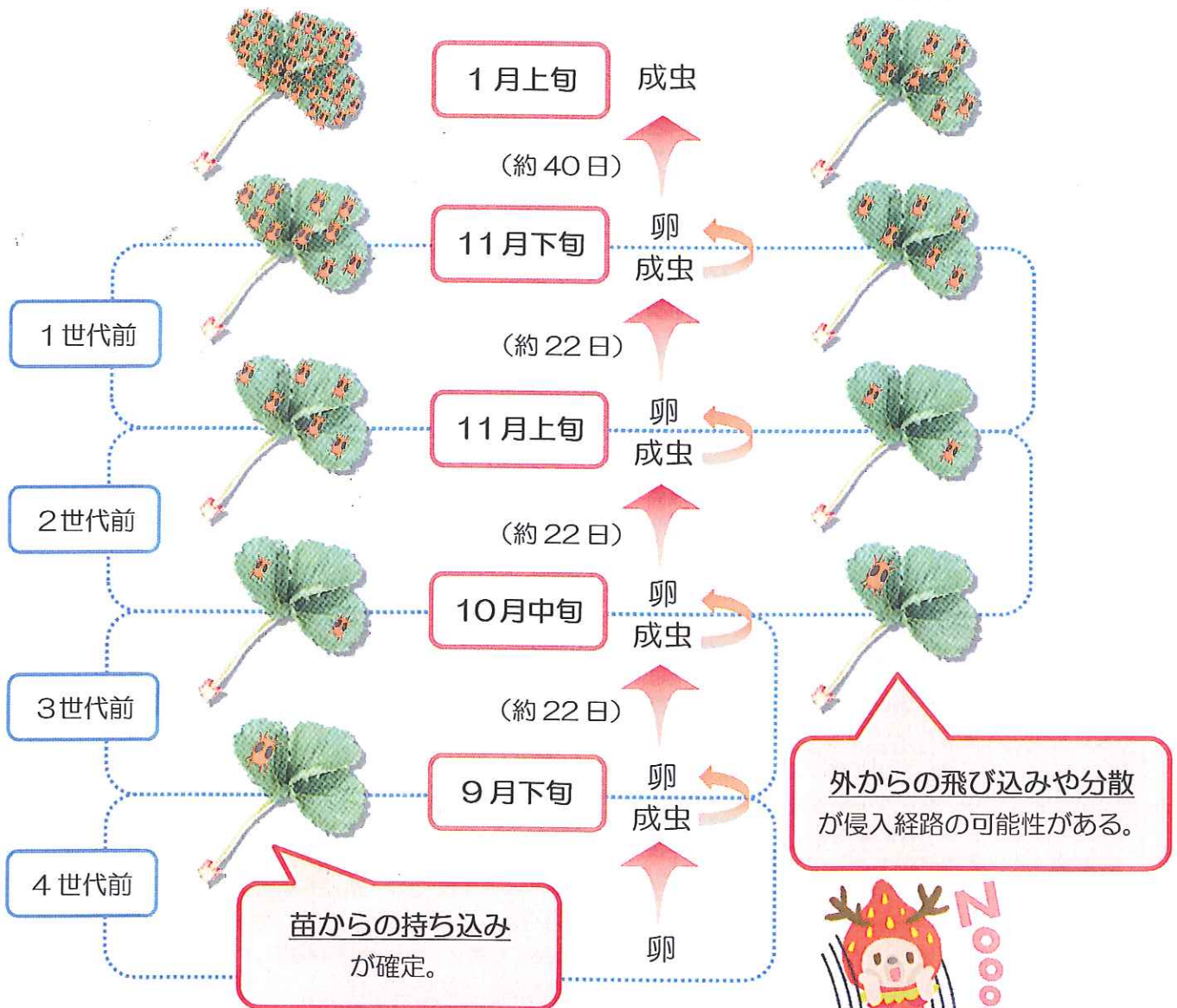
【ビニール被覆期間中のナミハダニの1世代】

秋季、春季：22日前後

冬季：40日前後 と考えると…

〔例1〕全面に発生  
クモの巣も散見

〔例2〕スポット発生  
10頭程度



・年明けに大発生していなくても（例2の場合）、苗からの持ち込みを薬剤散布等によって（制圧まではいかなくても）増殖速度を遅らせることで、小～中発生に抑えられている可能性がある。

・害虫は3～5世代で指数的に増加していく。⇒苗からの持ち込み、初期の発生・増殖を抑えることが重要！



以上のようにハダニ類の防除のポイントは苗からの持ち込みを減らすこと、異なる系統の薬剤を使用するローテーション防除を行うことです。

注：上記で挙げた薬剤を使用する場合はラベルを読み登録内容の確認をお願いします。

(参考データ) 2018年いちごで登録拡大された主な農薬情報

農薬名	作物名	変更箇所	変更年月日	メーカー名
ナメグリーン	いちご	【適用作物の追加】 ナメジ類/3kg/10a/収穫前日まで/2回以内	2018年2月28日	サンケイ化学
チオソックフロアブル	いちご	【適用作物の追加】 炭疽病/500倍/育苗期/5回以内 炭疽病/500倍/生育期 但し収穫開始21日前まで/2回以内	2018年3月14日	三井化学アグロ
アグリメック	いちご	【作物名の追加】 ハダニ類/500~1000倍/親株育成期、育苗期/2回以内/散布	2018年3月30日	シンジェンタ
ファインセーブ	いちご	【新規追加】 アザミウマ類/1000倍/収穫前日まで/3回以内/散布	2018年3月30日	北興化学
ダニコングフロアブル	いちご	【作物名の追加】 ハダニ類/3000倍/収穫前日まで/1回/散布	2018年6月13日	日本農薬

\*引用：第2回いちご研究会資料抜粋 (JA 全農九州営農資材事業所主催)

Step by Step 資料抜粋 (JA 全農ふくれん)

モベントフロアブルチラシ抜粋 (バイエルクロップサイエンス (株))

アグリメックチラシ抜粋 (シンジェンタジャパン (株))

\*9月号に記載されている内容はJA全農ながさきのホームページに掲載されています。

JA全農ながさきホームページURL：<http://www.ns.zennoh.or.jp>

## JAグループ「安全防除運動」展開中

### ◎農産物の安全……今、消費者がもっとも願っている「食の安全」。

それは私たち生産者の願いでもあります。きちんとした農薬を選び、正しく使って、日誌に記録を残す。これを続けることが、消費者に信頼される農産物づくりにつながります。

- ・使うのは、もちろん登録農薬！
- ・安全使用・事故防止へ、ラベル確認を習慣に！
- ・使用後も、防除日誌で“安全証明”

### ◎環境の安全……土や水といった自然の恵みを利用して営まれている

農業。皆さんが守り続けてきた大切な田畑を、次の世代に残すためにも、自然環境に十分配慮した農薬散布を心がけましょう。

- ・必要量だけ希釈し、使い切る。空容器は適正処理を！
- ・水稲除草剤の散布後は、圃場外への流出防止策を！

### ◎農家の安全……軽装備による散布中の事故や子供の誤飲事故が増えています。

いくら周辺の環境に配慮しても自身の健康を害しては何にもなりませんし、周辺住民との信頼関係を築くためにも農薬の保管管理にはいっそう注意したいものです。

- ・暑さに負けるな。完全防備！
- ・使用後は“薬の戸締り”万全に！

散布するときは、  
マスク、メガネ、手袋を  
きちんと、つけましょう。



安全使用基準を守りましょう